

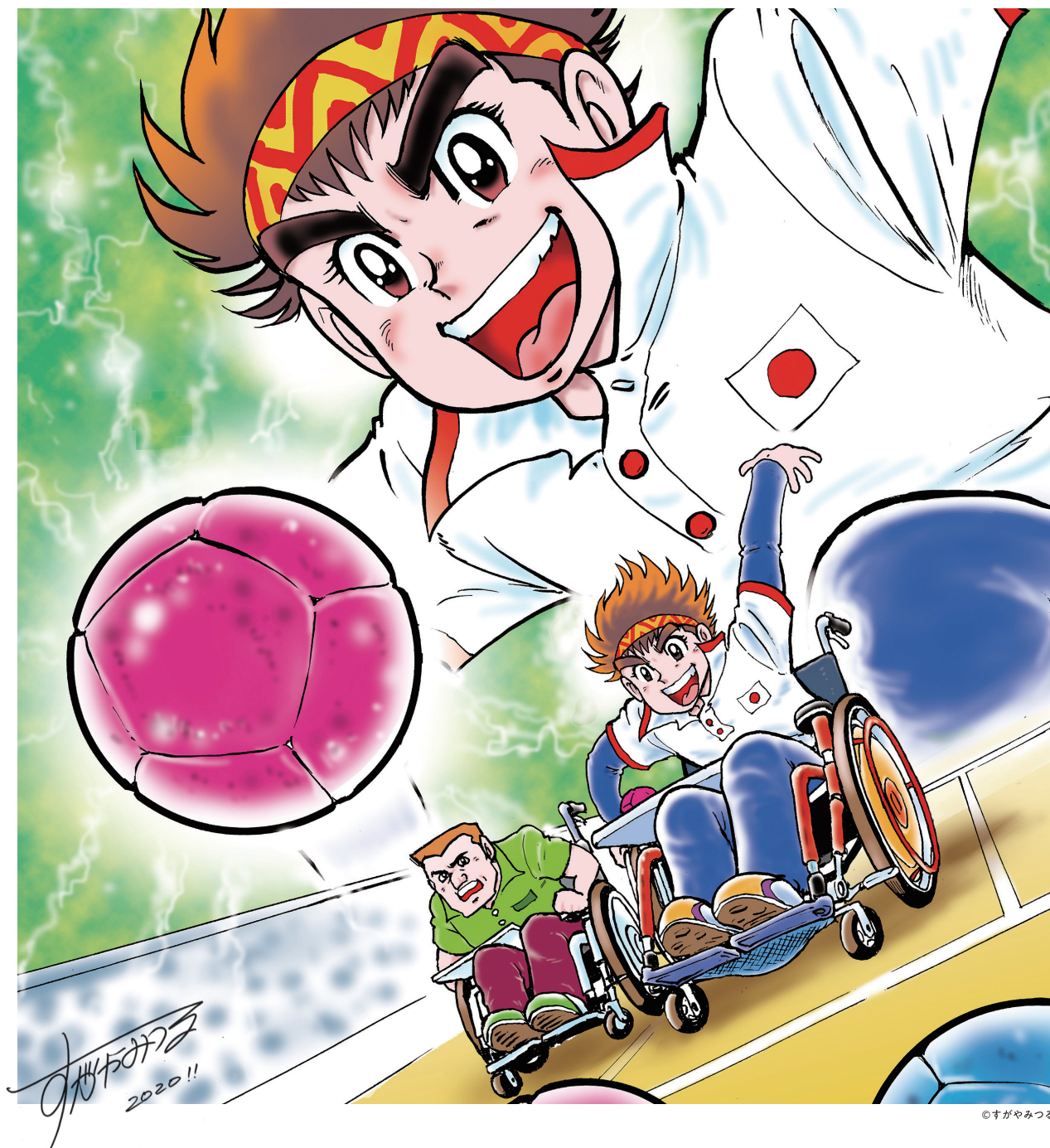
はじめての

パラスポーツ観戦

かんせん

Boccia

ボッチャ



©すがやみつる

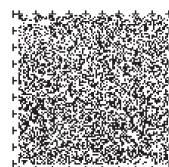


みんなで観に行こう、
パラスポーツ。

おうえん
応援のコツがわかると、観戦はもっと楽しくなる！

かんせん

たの



何手も先までイメージして、1ミリ単位で投げ分ける選手たち。 静まり返ったコートで、熱い戦いが繰り広げられる！

01

競技概要

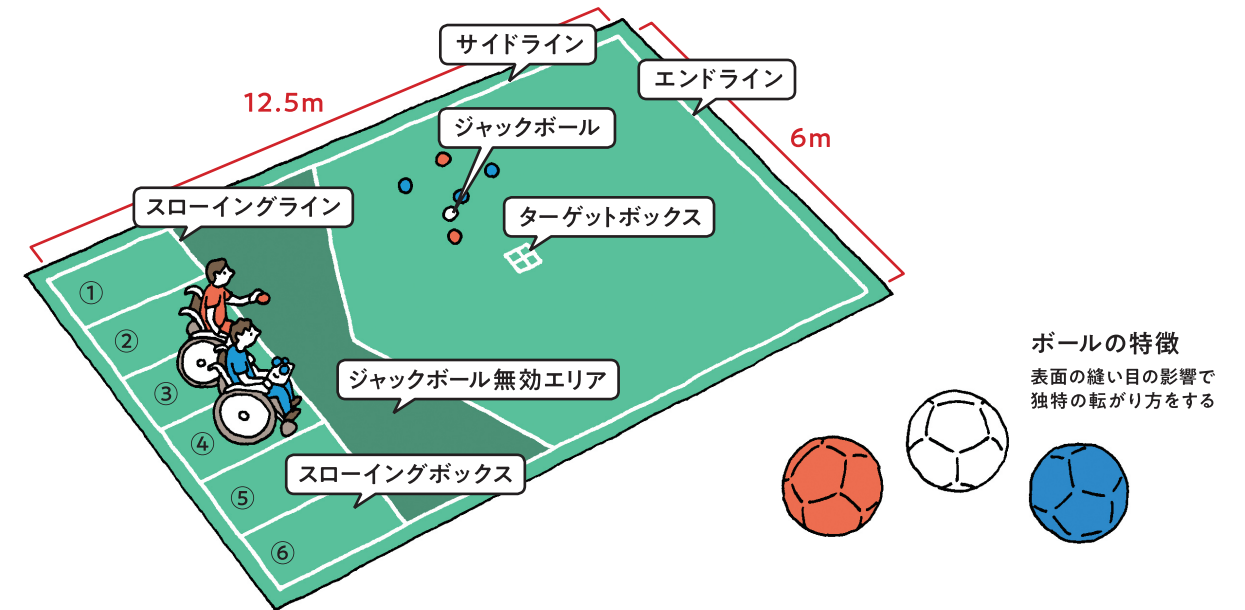
オリンピックでは実施されないパラリンピック独自の競技です。赤と青のボールを白いジャックボール（目標球）に、どれだけ近づけられるかを競います。



02

ルール説明

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに1エンドごとに、赤・青それぞれ6球ずつのボールをいかに近づけられるかを競います。試合は個人戦、ペア戦は4エンド、3対3の団体戦は6エンドの合計点で勝敗が決まります。



03

見どころ&応援方法

選手になったつもりで、

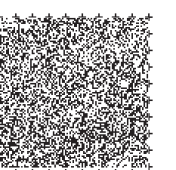
戦略の裏に隠されたドラマを想像しよう。

トップクラスの選手は将棋やチェスのように、何手も先までシミュレーションしながら試合を組み立てています。この選手はなぜその手を選んだのか？自分だったら次はどうするか？戦略の裏に隠されたドラマを想像しながら、選手が投球を終えるのを静かに待ちます。イメージ通りの場所にボールを置くことができれば、ワー！と大きな声で喜びましょう。メリハリの効いた観戦がボッチャの肝です。

ボッチャ観戦が
もっとおもしろく
なるコラム

COLUMN

BC3のクラスの競技をのぞいてみると、ん!?なぜかコートを背に、選手と向かい合っている人の姿が！実はこの「アシスタント」の存在が、勝敗に大きく関わってきます。あくまでも選手の指示を受けて車いすやランプ、ボールの位置を調整する役割ではありますが！6分（個人戦）以内に全6球を投げ終わらなければいけないため、障がいによって人に「伝える」行為が難しい選手といかに素早く意思疎通を行い、ミリ単位で寸分の狂いもなく指示を遂行できるかがとても大事。これぞまさに「連携プレー」！さらに驚くことに、アシスタントはコートの中を見てはいけませんが、頭の中にはコート上のボールの状況が「見えている」人も！パラリンピックなどの大会では、選手とともにメダリストになれるのも納得ですね！



04

クラス分け

パラリンピックでは、四肢麻痺など、重い障がいのある選手が対象です。四肢や体幹にある障がいの程度によってクラス分けされます。下から投げる選手、足で蹴る選手、アシスタントをつけて「ランプ」と呼ばれる勾配具を使う選手など、障がいによってボールの近づけ方も様々です。

クラス	種目	対象となる選手
BC1	個人戦 チーム戦	- 車いす操作不可で四肢・体幹に重度の麻痺がある選手 - 下肢で車いす操作可能で足蹴りで競技する選手
BC2	個人戦 チーム戦	上肢で車いす操作がある程度可能な選手
BC3	個人戦 ペア戦	- 最重度の選手が該当するクラス - 自力による投球ができないため、競技アシスタントによるサポートにてランプを使用し競技を行う
BC4	個人戦 ペア戦	- 頸髄損傷や筋ジストロフィーなど - BC1、BC2と同等の重度四肢機能障がいのある選手

一般社団法人 日本ボッチャ協会
https://japan-boccia.net/



TEAM BEYONDについて

パラスポーツ(障がい者スポーツ全体を指して使用しています)を応援する人を増やすため、東京都が2016年から展開しているプロジェクトです。スポーツをする人も、観る人も、支える人も、あらゆるメンバーがひとつのチームとなってパラスポーツを盛り上げていきます。



みんなで観に行こう、
パラスポーツ。

サイトへのアクセスはこちらから

www.para-sports.tokyo/



SNSも
こうしんちゅう
更新中!



@parasports.tokyo



@tokyoparasports



@tokyoparasports



TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT